



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を用いた 精緻な低侵襲胃切除術

消化器外科 診療科長 ひらはら のりゆき
平原 典幸

2015年2月より県内で初めて、当院で手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を用いた早期胃がんに対する内視鏡手術を開始しました。

<ダ・ヴィンチの特徴>

- ①内視鏡手術を支援する3つのコンポーネントがネットワーク接続されたシステム
- ②ロボットアームによる、手ぶれの無い、精緻で精密かつ安全な手術
- ③3D映像であるため、立体感のある、優れた視野

<患者さんへのメリット>

- ①術中の出血量および術後の痛みが少ない
- ②手術関連の合併症を軽減
- ③精緻な手術が可能であるため、がんの治療成績が向上

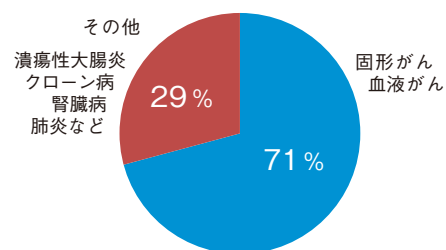
今後、消化器外科領域では胃がんのみならず、食道がんや大腸がんにもロボット支援内視鏡手術を導入していく予定です。



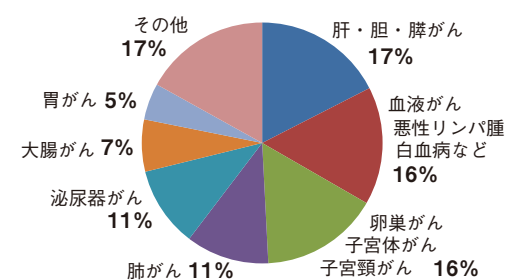
問合せ先 消化器・総合外科 TEL 0853-20-2232

「がん病態栄養専門管理栄養士」の資格取得

平成26年度に栄養士がベットサイドに訪問し、
食事介入を行った患者225名のがん患者さんの割合



栄養士が食事介入を行ったがん患者さんのがんの種類



栄養治療室 室長 ひらい じゅんこ
平井 順子



このたび、島根県内では前室長を含め2人目となる日本病態栄養学会と日本栄養士会が認定する「がん病態栄養専門管理栄養士」の資格を取得いたしました。この資格は、がんの栄養管理・栄養療法に関する実践に即した高度な知識と技術を修得し、がんに対する予防・治療・ケアに食と栄養の側面から寄与することができるようがん特化した管理栄養士の育成とチーム医療への連携強化を目的として認定されるものです。

がん治療では、食欲不振、悪心・嘔吐、口内炎、味覚障害など様々な食事に関連する問題が起こります。当院でも栄養士が医師や看護師などからの依頼で入院患者さんのベットサイドで食事の問題について話をうかがい、食事対応を行う約7割ががん患者さんです。栄養士として患者さんの病状だけでなく、その生活背景も考慮した食事対応を行っていきたくと考えています。これからも、患者さんを食と栄養面から支援できるよう研鑽を積んでいきたいと思っておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

問合せ先 栄養治療室 TEL 0853-20-2074



NEWS

CONTENTS

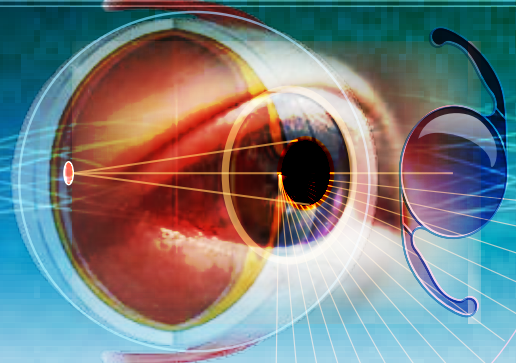
先進医療への取り組み

- ・眼科
- ・腎臓内科

- ・手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を用いた
精緻な低侵襲胃切除術
- ・「がん病態栄養専門管理栄養士」の資格取得



先進医療への取り組み



Access
 外来TEL 0853-20-2391
 病棟TEL 0853-20-2497 (B病棟8階)
 医局TEL 0853-20-2284
 FAX 0853-20-2278
 E-mail ophthal@med.shimane-u.ac.jp
 URL http://www.med.shimane-u.ac.jp/ophthalmology/

昨年末から白内障手術の際に多焦点眼内レンズの使用を開始

眼科 診療科長 おおひら あきひろ
 大平 明弘

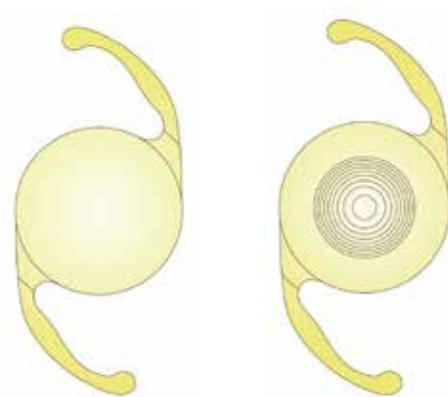
通常の白内障手術で使用されているのは単焦点眼内レンズで、遠方または近方のどちらか一方に焦点が合うレンズです。遠方に合わせた場合は近くを見るために老眼鏡が、近方に合わせた場合は遠方用の眼鏡が必要です。

一方、多焦点眼内レンズは遠方と近方2ヶ所に焦点を持つ眼内レンズです。日常生活の大半で眼鏡着用なしで不自由なくなります。

多焦点眼内レンズは眼に入ってくる光を遠方と近方に振り分ける構造になっているため、単焦点レンズに比べ、見え方の質はやや下がります。また、夜間に光を眩しく感じたり、光の周りに輪がかかって見える現象が出やすくなります。時間の経過と共に軽減したり慣れてくると言われていますが、夜間に車の運転をする方には不向きなレンズです。白内障以外に眼の病気のある方や医師が不向きと判断する場合は単焦点レンズを使用します。多焦点眼内レンズについては、このような長所、短所を理解していただき使用しています。

今後は、保険診療を目指して先進医療Aの申請を行う予定です。ご希望の方がいらっしゃいましたら当科へご紹介ください。宜しくお願い致します。

図1:眼内レンズ



単焦点レンズ

多焦点レンズ

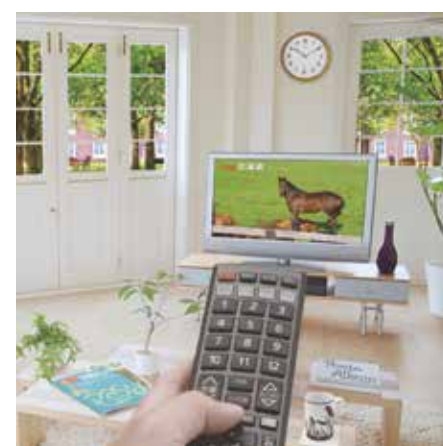
図2:単焦点眼内レンズの見え方のイメージ



遠方に焦点を合わせた場合

近方に焦点を合わせた場合

図3:多焦点眼内レンズの見え方のイメージ



Advanced medical Initiatives

Access

外来TEL 0853-20-2381
 病棟TEL 0853-20-2484
 医局TEL 0853-20-2206 (または2122)
 FAX 0853-20-2201 (または2122)
 URL http://www.shimane-u-internal4.jp

重度尿蛋白を伴う糖尿病性腎症に対するLDL吸着療法

腎臓内科 診療科長 いたう たかふみ
 伊藤 孝史

糖尿病のコントロールが悪い状態が長期間続くと腎機能が低下し、最悪の場合透析が必要になります。糖尿病性腎症は、1998年以降透析導入の原因の第1位となり、年間で16,000人以上が糖尿病性腎症で新規に透析導入となっています。2013年には新規導入患者の43.8%を占めています。

重度の尿蛋白を呈する糖尿病性腎症では、ネフローゼ症候群を発症することがあり、日本腎臓病学会レジストリー報告に基づく試算ではその患者数は約2,000～3,000人と推定されています。ネフローゼ症候群を合併すると腎機能低下が促進され、短期間に末期腎不全に至るリスクが高まることも知られています。しかしながら、一般的にネフローゼ症候群の治療に使用される副腎皮質ステロイド薬は副作用の観点から糖尿病性腎症には禁忌とされているため、病勢コントロールに難渋することが多いです。また、ネフローゼ症候群で合併する高LDLコレステロール血症は腎障害を引き起こすことから、スタチンをはじめとする脂質低下薬が選択されますが、そのコントロールにも難渋することが多いです。

LDL吸着療法は、家族性高コレステロール血症、閉塞性動脈硬化症、巣状糸球体硬化症に保険適用があります。また、現在保険適応はありませんが、糖尿病性腎症に伴うネフローゼ症候群に対するLDL吸着療法についても生命および腎予後の改善が報告され、有力な治療選択肢としての可能性が示されています。

そこで今回、重度尿蛋白を伴う糖尿病性腎症患者に対し、LDL吸着療法を実施し、生命延長や腎機能維持等の有効性と安全性を検討するための多施設共同臨床研究(LICENSE研究)が計画され、当院でも倫理委員会で承認されました。実際の症例の選択、治療に関しては、内分泌代謝内科、泌尿器科、血液浄化治療部、腎臓内科が共同で行います。さらに将来的な保険診療を目指して先進医療Aの申請も予定しています。

問合せ先 腎臓内科外来 TEL 0853-20-2381



血液浄化装置



島大病院ニュース
2015年5月

お知らせ

患者さんとそのご家族のための宿泊施設紹介

当院では、患者さん及びそのご家族の方が外来受診、付き添い、お見舞いなどで来院された際にご利用できる宿泊施設として、医学部会館（シングル6室、ツイン1室）をご用意しています。医学部会館は病院敷地内にあり、病院から近く、急に付き添いが必要となった場合などに非常に便利です。なお、満室の場合には、病院と提携している市内のホテルをご案内しています。提携先ホテルは「ニューウェルシティ出雲」、「ホテルながた」、「ホテル リッチガーデン」で、各ホテルとも一般料金より安価（1割～3割引き）でご利用になれます。

ご利用される場合は、「病院総合受付8番窓口」までお問合せください。



〈医学部会館 室内〉

料金例

● 医学部会館（シングル：1泊食事なし）

1,190円～2,140円

● 提携ホテル（シングル：1泊朝食付き）

4,800円～5,700円



問合せ先 医療サービス課 医事業務担当 TEL:0853-20-2069

お知らせ

島大病院ニュース

平成27年5月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2015年5月

お知らせ

平成27年度クリニカルスキルアップセンター講習予定

医療シミュレータを利用した様々な体験学習によって医療技術向上および医療安全対策を図ることを目的に下記のコースを開催しています。

受講希望者はクリニカルスキルアップセンターのホームページ <http://www.clinicalskillup.jp/> から申し込んでください。

平日定期講習

1.初級心音聴診	聴診部位、I音、II音、収縮期雑音、拡張期雑音
2.初級呼吸音聴診	聴診部位、異常呼吸音、副雑音
3.やさしいモニター心電図	期外収縮、房室ブロック、心房細動
4.初歩からの12誘導心電図	電極装着、正常波形の理解、軸偏位、長軸回りの回転、脚ブロック
5.確実にできる静脈穿刺	穿刺する静脈の見分け方、血管貫通時の手ごたえ
6.基本的フィジカルアセスメント	脈拍数、呼吸数、経皮的動脈血酸素飽和度、血圧、浮腫
7.今から始める心エコー	傍胸骨左縁長軸断層像、傍胸骨左縁短軸断層像、心尖部四腔像
8.今から始める腹部エコー	肝静脈と肝門脈に沿った肝臓描出
9.今から始める血管エコー	頸動脈の描出と血流速測定
10.院内BLS	胸骨圧迫、人工呼吸、AED
11.院内ALS	異常呼吸ケース、VT/VFケース、除脈ケース、頻脈ケース
12.患者急変初期対応セミナー	患者急変に気が付く、その場で行う処置
13.医療シミュレータインストラクター養成(Sim-INT)コース	医療者を対象としたシミュレーション教育の指導者養成
14.医療シミュレータインストラクターネットワーク(INT-Net)コース	県内各圏域の相互協力によるシミュレーション教育の実践
15.医療シミュレータインストラクターアドバンス(INT-ADV)コース	Sim-INTコース修了者を対象としたフローアップコース

休日定期講習

1.薬剤師対象フィジカルアセスメント	クスリの作用と副作用を確認するための身体診察法
2.歯科医師対象フィジカルアセスメント	呼吸・循環の状態を把握するための身体診察法
3.訪問看護師対象フィジカルアセスメント	経過観察および患者急変の判断に必要な身体診察法
4.医療者対象フィジカルアセスメント	カルテに記載された患者情報を理解する
5.介護士に求められる身体観察の基本	高齢患者の体調変化に気づくための身体観察

専門領域講習

1.心エコー技術セミナー	スクリーニング走査法、疾患モデル
2.腹部エコー技術セミナー	スクリーニング走査法、疾患モデル
3.血管エコー技術セミナー	スクリーニング走査法、疾患モデル
4.気道確保セミナー	気道確保が困難症例への対応法を習得する
5.セデーションセミナー	鎮静の手技を習得する
6.CVセミナー	超音波ガイド下中心静脈穿刺を習得する
7.新生児蘇生講習	新生児の蘇生手技を習得する
8.周産期セミナー	周産期救急に効果的に対処する知識・能力を習得する
9.訪問看護研修	簡単な器具で最大限の情報を得るための手技を習得する
10.模擬患者勉強会	医学教育に参加する模擬患者の基礎研修

問合せ先 クリニカルスキルアップセンター TEL:0853-20-2551





島大病院ニュース
2015年5月

お知らせ

救急医学・法医学

合同カンファレンス

院外心肺停止を中心に



救急医療と法医学の関わりは深いものがあります。
院外心肺停止・死亡診断などをめぐってdiscussionします。
医師・看護師・救急隊・警察など多くの関係の皆さんの参加をお待ちしています。

と き

平成27年 **5月22日** (金)

18:00~20:00

ところ

島根大学医学部 臨床大講堂

救急医学講座 教授

話題提供：**仁科 雅良** 先生

法医学講座 教授

司 会：**竹下 治男** 先生



情報交換会

20:00~21:00

外来棟2F 食堂ラパン

※このカンファレンスは島根県医師会指定の生涯教育講座

2
単位

(申請中)です。

主催

島根大学医学部 救急医学

Tel / Fax: 0853-20-2402
E-mail: qqigaku@med.shimane-u.ac.jp

島根大学医学部 法医学

島根大学医学部 医師会

Tel: 0853-20-2176
E-mail: keiunkai@icv.ne.jp





島大病院ニュース
2015年5月

お知らせ

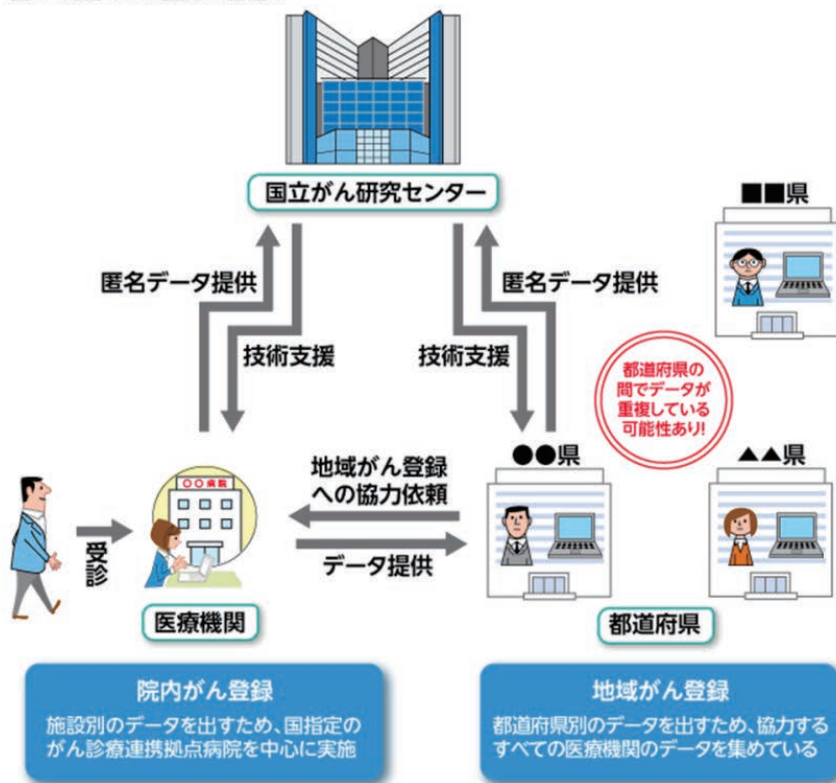
2011年分の『島根県院内がん登録報告書』を公開しました

島根県がん対策協議会会長／島根大学病院腫瘍センター長 すずみや じゅんじ
鈴宮 淳司

島根県のがん登録（院内がん登録と地域がん登録の2種類あります。図参照）は、島根県がん診療ネットワーク協議会（事務局 島根大学医学部附属病院）が、島根県と協力をして実施しています。島根県内の院内がん登録を実施している医療機関からデータを提出していただき、『島根県院内がん登録報告書』を作成し、提出医療機関向けに報告書を提供してきました。

がん登録の仕組み（院内がん登録と地域がん登録） （2016年1月からは地域がん登録は全国がん登録へ移行）

図2 現在のがん登録の仕組み



2011年分の『島根県院内がん登録報告書』を当院と島根県のホームページに掲載し公開しました。このことを県民のみなさまに広く知って頂くため、平成27年3月24日、井川病院長、牧野島根県医療統括監、中林診療情報管理士とともに記者発表を行いました。毎年新しい年次の院内がん登録報告書を公開していきますので、是非ご覧いただき、島根県のがんの状況の把握にご利用ください。

問合せ先

医療サービス課 がん登録室
TEL:0853-20-2587

独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センターHPより引用
http://ganjoho.jp/public/statistics/cancer_registration/cancer_registration01.html

お知らせ

島大病院ニュース

平成27年5月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

